

職場「9条の会」で広がるつながりは平和であるからこそ！

◆ 京都府高『職場「9条の会」交流会』を開催 ◆

11月17日の府高職場「9条の会」交流会には20職場から参加。職場「9条の会」結成の経過や活動内容の話の中に、「会」の存在の意味をつかんだ光る言葉もあり、参加者は頷いたりしながら聞き入っていました。参加者の発言も含め、組合・未組、職種、世代をこえ、平和を希求する一点で限りなくつながっていくこと、そのことが学校づくりや社会変革につながっていることがよくわかる交流会でした。準備中の職場からも「年度内にはつくりたい」との決意も述べられ、「府立学校9条の会」をつくる展望も見えた集会となりました。

【木津高校九条の会】 中間考査期間、食事会を兼ねた「木津高校9条の会」発足の集いには27人が参加。未組、青年（教科のつながり）、女性も加えて9人に呼びかけ人をお願いし、体制・活動内容について相談、確認。参加者に活動や平和への思いを語ってもらった。参加しての感想を分会機関誌「あしあと」に掲載、職場に配布した。

（発足後）開店休業になってもよい。前任校では職場「9条の会」に参加しなかった人が木津では参加してくれた。情勢が「9条の会」を必要としている。声の小さい人の声をニュースで知らせていきたい。

【朱雀高校定時制 ステキの会】 当面は憲法集会が年2回あるのでそれでいいだろうと思っていたが、いざスタートすると活動は広がる。小さい職場なのでいつかは行き詰まると思い、卒業生や保護者にも呼びかけ人になってもらった。1回目は22人が参加し、元看護師や学童疎開の経験のある卒業生が語る戦争体験を涙ながらに聞いた。若い人にもわかるとりくみをしたいと、ブログやミクシーも立ち上げた。明日は、「私にとっての“戦争”と平和」という企画で2回目を行う。夕食には餃子作り、食後に平和と愛の歌声もある。卒業式では「9条の会」としてリーフやピラを配布する予定。

【中丹9条の会】 事務局を軸に、暮らしの中に根つき、持続できる活動をしていこうと、9条グッズ・平和文化・そば道場の役割を分担。9条の会は堂々と胸を張って職場に情勢を伝えることができる。週刊ニュースは45号発行。気軽に読めて「目から鱗」の記事を心がけている。全国とのつながりもうまれ、憲法前文を書いたTシャツは埼玉から注文があった。町中で着るには勇気がいるが、大事な活動だ。DVD鑑賞会も大事にしている。職場だけでは限界があるので地域との連携を考え、福知山9条の会の結成にも参加した。

洛東高校に9条の会結成！ 会発足の案内だけでも加入12人！

「分会があるのに必要なのか？」という思いもあって、会の立ち上げには消極的でした。しかし、府高の提起もあるし、情勢から考えて必要なことだと思いなおし、気楽にやろうということで、二人の世話人で出発することにしました。会の発足のお知らせと入会の申込書をニュースにして、10月に職場全員に配布しました。「この指とまれ」方式でも、すぐに反応してくれる方がいるのは驚きました。現在組合員ばかりですが、12人の会員が加入しています。ニュースは4号まで出ています。当面会員限定配布のA4版カラー印字です。内容は憲法に関するイベントの紹介が主です。10月14日に開かれたベアテ・シロタ・ゴードンさんの講演会に二人の会員が参加しましたが、その感想も記事にしました。とにかく気楽に、世話人の「欲求」に従って、会を運営していくつもりです。そのうち会員の方の創意工夫もでてくるでしょう。